

きょうだい

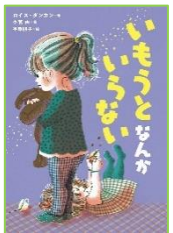


『おとうとがおおきくなったら』

ソフィー・ラグーナ/文
ジュー・イ・ワソソ/絵
当麻ゆか/訳
徳間書店



ぼくのおとうとのテオは、まだあかちゃん。テオがおおきくなったら、いろいろなところへ行って、いろいろななはなしをしたい。はやくおおきくなってね。



『いもうとなんか いらない』

ロイス・ダンカン/作
小宮由/訳
平澤朋子/絵
岩波書店

たのしくあそびたいのに、いもうとのスザンヌのせいで、いつもめちゃくちゃ。メアリー・ケイは、いもうとをだれかのペットと、とりかえっしょうとおもいつきます。



『よそんちの子』

いとうみく/文
池辺葵/絵
ほるぶ出版



なこのうちに、ひとりでもとまりにきた、4さいのかなちゃん。かぞくみんなが、かなちゃんのことばかりをだいにするので、なこはなんだかおもしろくありません。

なかよし



『えんどうまめばあさんと そらまめじいさんの いそがしい毎日』

松岡享子/原案・文
降矢なな/文・絵
福音館書店



えんどうまめばあさんと、そらまめじいさんははたらきもの。でもこまったことに、なにかをしても、ほかにやりたいことをみつけると、すぐにはじめないと、きがすまないのです。



『だれもしらない 小さな家』

リナー・クライマー/作
小宮由/訳
佐竹美保/絵
岩波書店

大きなマンションにはさまれた小さなあき家。アリスとジェーンはこっそり家に入ると、おうちごっこをはじめました。するとそこへ、おこったかおの大家さんがやってきました。



『しかくいなのじかん』

パメラ・ポール/ぶん
ベッキー・キャメロン/え
ギョウ・ヤマグチ/やく
イメージ・プラス



ボクのうちでは「しかくいなのじかん」があるんだ。それはボクがいないとはいじまらない。「しかくいなのじかん」ってなんだろう？

小学 1・2年生

あつまれ あまろい本

足立区立図書館

すきな本をさがしてみよう！

「ひょうしのえがすき！」「よんでわらった！」本をたくさんよんですきな本をさがしてみよう。じゆうにえらんでたのしもう。



はっけん

『らんらんランドセル』

リナガ・ヨウ/著
めくるむ



みんながつかっているランドセル。すぐくじょうぶで、あめのひでもなかみがぬれないし、にもつがたくさんはいる。ランドセルはどうやってつくるのかな。

→ あだち電子図書館で読める本

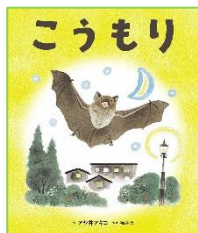
→ 読みやすい本

©Yo & Motoko

あだち電子図書館

詳細はコチラ

いきもの



『こうもり』

アヤ井アキコ/作
福井大/監修
偕成社



こうもりは、まっくらでも、むしをつかまえ、とびまわることができます。ひとにはきこえない、ちょうおんぱをつかうことで、まわりになにかがあるか、わかるからです。



『やまの動物病院』

どうぶつびょういん
なかがわちひろ/作・絵
徳間書店

ねこのとらまるは、動物病院のまちの先生とくらしています。よる、先生がねむったあとは、とらまるのしごとのじかん。とらまるは山の動物たちのおしやさんなのです。

はっけん

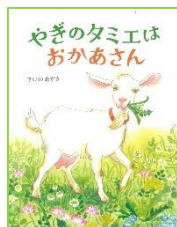


『すいどう』

百木一朗/さく
福音館書店



みずはすいどうかんをながれて、わたしたちのいえにおくられてきます。では、すいどうかんはどこにあって、どうやってみずをはこんでいるのでしょうか。



『やぎのタミエはおかあさん』

すけのあずさ/作
BL 出版

うちでかっているやぎのタミエは、ちかごろちよっとへん。いつもはあしがはやいの、のっそり、のっそりあるいている。なんと、タミエのおなかには、あかちゃんがいるんだって！



『まよなかのゆうえんち』

ギデオン・スラー/作
リアキアラ・デ・イ・ジ・ヨルジョ/絵
BL 出版



にんげんがかえったあとのゆうえんちに、森からたくさんのだうぶつがやってきました。まよなかのゆうえんちで、どうぶつたちのにぎやかなこえがひびきます。



『だいどころのたね』

久保秀一/写真
大久保茂徳/監修
ひさかたチャイルド

どうもろこしをつちにまいたら、めがでてきた。いつもたべている、ピーナツやごまもうえたら、めがでるのかな？ほかにはどんなたねがあるのか、だいどころをさがしてみよう。

おもしろい



『イかにんじゅつ道場』

どうじょう
香桃もこ/作
岡田よしたか/絵
福音館書店



にんじゅのイカは「にんじゅつ道場」をひらきました。が、なかなか弟子がきません。ようやくやってきたのは魚のキス。イカはうまくおしえることができるでしょうか。

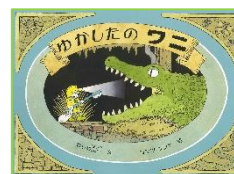


『そんなうそだ!』

ジーン・マリ/作
小宮由/訳
坂口友佳子/絵
岩波書店

なまけものサル、ブタ、キツネがすんでいる村に、イヌがやってきました。サルたちは、イヌのごうかな服をうばおうと、だれのはなしがいちばんおもしろいか勝負をもちかける。

くらやみ



『ゆかしたのワニ』

ねじめ正一/文
マツシヤ/絵
福音館書店



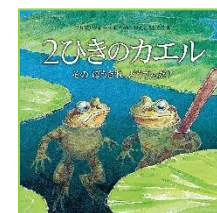
ぼくちのゆかしたには、ワニがいます。ぼくは、よるになると、かいちゅうでんとうで、ワニのくちのなかをてらして、ハミガキをします。ごしごししている、ワニののどがごくりとうごきました。



『わたしはどこでしょう?』

え
藤川智子/作
講談社

くらのなかには、むかしからあるにんぎょうや、おもちゃがいっぱいあります。だるまにこけし、まねきねこ。しゃしんとおなじものをさがしてみよう!



『2ひきのカエルそのぼうき、どうすんだ?』

クリス・ウォーメル/作・絵
はたこうろう/訳
徳間書店

すいれんのうえに2ひきのカエル。ようじんぶかい1ぴきが、犬よけにぼうきれをもっている。もう1ぴきは、犬なんかくるはずないと、わらっている。ぼうきれは、やくにたつのだろうか。



『かみなり』

武田康男/監修・写真
小杉みのり/構成・文
岩崎書店

かみなりは、どうしてうまれるのでしょうか。なぜ、じめんにおちるのでしょうか。こわいけれど、うつしくもあるかみなりについて、はくりよくあるしゃしんとともに、おしえてくれます。

